

(別表2) 農薬別の水質調査結果(排水口)

農薬名	調査ゴルフ場数	総検体数 ^{注1}	うち排水口検体数	検出濃度範囲 ($\mu\text{g/L}$) ^{注2}	定量下限値 ($\mu\text{g/L}$)	検出検体数	指針値 ($\mu\text{g/L}$)		指針値超過検体数		超過不明検体数 ^{注3}			
							水濁	水産	水濁	水産	水濁	水産		
留意すべき農薬 ^{注4}	1	アシュラムナトリウム塩又はアシュラム	766	2,102	640	N.D. ~ 1,000	0.001 ~ 1,000	249	10,000	90,000	0	0	0	0
	2	クロロタコニル又はTPN	394	905	231	N.D. ~ 5	0.04 ~ 50	12	470	80	0	0	0	0
	3	シクロスルフアムロン	222	480	143	N.D. ~ 2	0.2 ~ 80	8	800	35	0	0	0	2
	4	ベンシクロン	569	1,305	373	N.D. ~ 100	0.001 ~ 1,000	78	1,400	1,000	0	0	0	0
	5	ダイアジノン	183	351	71	N.D. ~ 0.8	0.005 ~ 50	3	20	0.77	0	1	5	16
	6	ピロキサスルホン	275	556	151	N.D. ~ 14	0.05 ~ 50	78	500	7.4	0	4	0	13
その他 ^{注5}		カフェンストール	-	-	-	28	0.5	-	70	20	0	1	0	0
		ジラム	-	-	-	26	0.96	-	未設定	9.6	-	1	-	0

注1: 総検体数には、調整池や場外の水域等で採取されたものを含む。

注2: N.D.は不検出を示す。検出濃度は、各調査機関により定量下限値が異なるため、調査機関によっては必要な検出感度が得られていない場合がある。

注3: 分析の定量下限値が指針値を上回っていたため、指針値を超過しているかどうか不明な検体数。

注4: ゴルフ場における使用量の多い農薬(1~4)及び過去に指針値の超過が比較的多く見られた農薬(5~6)。

注5: 上記以外で指針値超過のあった農薬であり、調査ゴルフ場数、総検体数、排水口検体数及び検出検体数の全国集計は行っていない。